

# 2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）

法律学科・地域環境政策学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理)

## 【選択科目：日本史 B】

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

## 2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

### 法律学科・地域環境政策学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理) 【日本史 B】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の史料を読んで、各問に答えなさい。

大業三年、其の王多利思比孤、使を遣して朝貢す。使者曰く、「聞くならく、海西の菩薩天子、重ねて仏法を興すと。故、遣して朝拝せしめ、兼ねて沙門数十人、来りて仏法を学ぶ」と。其の国書に曰く、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや、云云」と。帝、之を覽て悦ばず、鴻臚卿に謂ひて曰く、「蛮夷の書、無礼なる有らば、復た以て聞する勿れ」と。  
(『隋書』倭国伝 原漢文)

問1 史料の「大業三年」は西暦で何年か、下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. 478 年

イ. 607 年

ウ. 630 年

問2 このとき、使者を派遣した倭(ヤマト政権)の王は誰か、文中の語句を用いて人名を書きなさい。(2点)

問3 中国は589年に統一されるまで南北朝時代であった。倭の五王が朝貢した王朝はどこか、下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. 北魏

イ. 東晋

ウ. 宋

問4 史料では、使者の発言を引用して、使節を派遣した目的が二つあることに触れている。それぞれ文中の語句を用いて書きなさい。(各2点)

問5 史料の「帝」とは誰(A)のことか書きなさい。また、文中には「帝」を指す別の表記が二つある。そのうち一つを書きなさい(B)。(各2点)

問6 倭の国書を「帝」が悦ばなかったのはなぜか、理由を書きなさい。(2点)

問7 このころ、倭（ヤマト政権）が、それまでの氏族単位の王権組織を再編成するため制定した制度は何か（A）、また、豪族たちに国家の官僚としての自覚を求め、新たな政治理念を明記した法令は何か（B）、下記から選んでそれぞれ記号で答えなさい。（各2点）

- |                                      |                                 |                                  |
|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| (A) ア. 氏姓制度 <sup>しせい</sup>           | イ. 冠位十二階 <sup>かんいじゅうにかい</sup>   | ウ. 公地公民制 <sup>こうちこうみんせい</sup>    |
| (B) ア. 憲法十七条 <sup>けんぽうじゅうしちじょう</sup> | イ. 「改新の詔」 <sup>かいしん みことのり</sup> | ウ. 飛鳥浄御原令 <sup>あすかきよみはらりょう</sup> |

Ⅱ. 次の文の1～15の空欄に入る語句を、語群のなかから選び記号で答えなさい。（各1点）

日本列島の北の（ 1 ）では、古代には（ 2 ）、続いて（ 3 ）と（ 4 ）が並存していたが、13世紀にはアイヌの文化が生まれるようになり、津軽の（ 5 ）を根拠地として得宗の支配下にあった豪族の（ 6 ）との交易を行っていた。

14世紀には畿内と（ 5 ）を結ぶ日本海交易が盛んに行われ、（ 7 ）などの産物が京都にもたらされた。やがて、人びとは本州から、（ 1 ）と呼ばれた北海道の南部に進出し、各地の海岸に港や（ 8 ）を中心にして居住地を作った。彼らは（ 9 ）といわれ、（ 6 ）の支配下に属して勢力を拡大した。

漁労・狩猟や交易を生業としていたアイヌは（ 9 ）と交易を行ったが、しだいに圧迫され、1457（長祿元）年には大首長（ 10 ）を中心に蜂起した。一時は居住地のほとんどを攻め落としたが、（ 11 ）に拠点を置いた（ 12 ）によって制圧された。（ 12 ）が築城した（ 13 ）の跡からは、発掘調査によって屋敷跡や職人の工房跡、（ 9 ）やアイヌの墓地などの遺構のほか、日本や中国産の（ 14 ）など、多数の遺物が出土している。また、（ 8 ）の一つである志苔館<sup>しのりだて</sup>の付近からは大量の（ 15 ）が出土している。

【語群】

- |                                 |                          |                            |                           |
|---------------------------------|--------------------------|----------------------------|---------------------------|
| ア. 平泉 <sup>ひらいづみ</sup>          | イ. 十三湊 <sup>とさみなと</sup>  | ウ. 蝦夷ヶ島 <sup>えぞがしま</sup>   | エ. 擦文文化 <sup>さつもん</sup>   |
| オ. オホーツク文化                      | カ. 続縄文文化 <sup>ぞく</sup>   | キ. 銅銭                      | ク. サケ・コンブ                 |
| ケ. 陶磁器                          | コ. 和人 <sup>わじん</sup>     | サ. 蠣崎（武田）氏 <sup>かきざき</sup> | シ. 奥州藤原氏 <sup>おうしゅう</sup> |
| ス. 安藤（安東）氏 <sup>あんどう</sup>      | セ. シャクシャイン               | ソ. コシャマイン                  | タ. 商場 <sup>あきないば</sup>    |
| チ. 道南十二館 <sup>どうなんじゅうに たて</sup> | ツ. 勝山館 <sup>かつやまだて</sup> | テ. 箱館 <sup>はこだて</sup>      | ト. 上之国 <sup>かみのくに</sup>   |

Ⅲ. 1～5の作者が描いた「絵画」とその絵画の「ジャンル」をそれぞれ記号で答えなさい。

(各1点)

1. 黒田<sup>せい き</sup>精輝      2. 歌川<sup>うたがわひろしげ</sup>広重      3. 池大<sup>いけのたいが</sup>雅・<sup>おそん</sup>蕪村      4. 狩野<sup>えいとく</sup>永徳      5. 雪舟<sup>せつしゅう</sup>

【作品名】

- a. 十便<sup>じゅうべん</sup>十宜<sup>じゅうぎ</sup>図      b. 唐<sup>から</sup>獅子<sup>じし</sup>図屏風      c. 天橋<sup>あまのはしだて</sup>立図      d. 湖畔<sup>こはん</sup>      e. 東海道五十三次

【ジャンル】

- ア. 浮世<sup>うきよ</sup>絵      イ. 洋画      ウ. 障壁<sup>しょうへき</sup>画      エ. 水墨<sup>すいぼく</sup>画      オ. 文人画

Ⅳ. 次の史料を読んで、各問に答えなさい。

世の中に蚊ほどうるさきものはなし  
ぶんぶといふて夜もねられず

白河の清きに魚のすみかねて  
もとの濁りの田沼こひしき

問1 この史料にみられる、政治・世相を滑稽なスタイルで風刺する短歌を何というか（A）、また、この史料が風刺している江戸幕府の改革を何と呼ぶか、書きなさい（B）。(各2点)

問2 史料の「白河」が示す人名（A）と幕府での役職（B）を書きなさい。(各2点)

問3 史料の「田沼」が示す人名を書きなさい（A）。また、この史料の作者は、「田沼」の何を「こひしき」と言っているのか、書きなさい（B）。(各2点)

問4 「ぶんぶといふて夜もねられず」とは「白河」が進めた改革を示している。その内容として適当なものを、下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア. 学問と武芸の奨励                      イ. 新田開発の奨励                      ウ. 異国船打払令<sup>いこくせんうちはいれい</sup>の撤回

問5 この史料が作られた時代の日本周辺での出来事（A）と国内の出来事（B）として適当なものを、それぞれ下記から選んで記号で答えなさい。(各2点)

(A)

- ア. アメリカ合衆国の商船モリソン号が浦賀沖で日本から砲撃を受けた。  
イ. ロシア船が日本近海に出没するようになった。  
ウ. アメリカ東インド艦隊が浦賀に来航した。

(B)

- ア. 元大坂町奉行所与力の大塩平八郎<sup>おおしおへいはちろう</sup>が富裕な商人を襲撃した。  
イ. 九州の島原・天草地方でキリスト教徒が一揆<sup>いっき</sup>を起こした。  
ウ. 大規模な飢饉<sup>ききん</sup>のため江戸や大坂で打ちこわしがあいついだ。

問6 この史料が作られた時代に実施された経済分野の政策として適当なものを下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア. 旧里帰農令<sup>きゅうりきのうれい</sup>                      イ. 足高の制<sup>たしだか</sup>                      ウ. 株仲間解散令<sup>かぶなかま</sup>

V. 次の文の 1～15 の空欄に入る語句を、語群のなかから選び記号で答えなさい。(各 1 点)

1904 (明治 37) 年 2 月、日本は宣戦を布告し、( 1 ) が開始された。日本軍は苦戦を強いられつつも朝鮮や中国での戦闘に勝利し、1905 (同 38) 年 1 月には旅順<sup>りょじゅん</sup>を陥落させた。ついで 3 月の奉天会戦<sup>ほうてんかいせん</sup>で敵の主力をやぶり、5 月の日本海海戦では ( 2 ) を壊滅させた。しかし、多額の戦費のために、日本の戦力は限界に達しており、相手国も国内の ( 3 ) などを理由に戦争の終結を必要としていた。そこで、アメリカ大統領 ( 4 ) の仲介で、アメリカの ( 5 ) で講和会議が開催され、日本全権 ( 6 ) と相手国全権ウィッテの間で講和条約が結ばれた。おもな内容は、日本の ( 7 ) に対する指導・保護・監理措置の承認、旅順・大連の ( 8 ) と東清鉄道南部支線<sup>とうしんてつどう</sup>の日本への譲渡、( 9 ) の日本への割譲、沿海州<sup>えんかいしゅう</sup>・カムチャッカ半島における日本の ( 10 ) の承認であった。

戦争による犠牲の大きさにくらべると、賠償金はえられず、日本の獲得した領土や権益も少なかったため、国民ははげしく政府を攻撃した。東京では、( 11 ) のように、暴動をとまなう民衆運動にまで発展した。

この時期、軍艦を中心に列強間では軍備拡張がつづけられたため、戦時中の臨時増税<sup>かつらたろう</sup>が継続されるなど、国民の負担は軽くならなかった。このようななかで、1906 (明治 39) 年、桂太郎は、円滑に政治を運営するため、首相の座を ( 12 ) 総裁西園寺公望<sup>さいおん し きんもち</sup>に譲った。こうして、桂と西園寺が交互に政権を担当する ( 13 ) が始まり、藩閥・官僚と ( 14 ) の提携が成立した。その背後では、伊藤博文<sup>いとうひろふみ</sup>や山県有朋<sup>やまがたありとも</sup>ら政治の第一線からしりぞいた ( 15 ) が、依然として影響力を維持していた。

【語群】

- |                                |                             |                                |                              |
|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| ア. 租借権 <sup>そしゃくけん</sup>       | イ. 借地権 <sup>しゃくちけん</sup>    | ウ. 革命運動                        | エ. 南樺太 <sup>みなみからふと</sup>    |
| オ. セオドア・ルーズヴェルト                |                             | カ. 元老 <sup>げんろう</sup>          | キ. 桂園時代 <sup>けいえん じ だい</sup> |
| ク. 日露戦争                        | ケ. 日清戦争                     | コ. 立憲政友会 <sup>りっけんせいゆうかい</sup> | サ. 政党                        |
| シ. フランクリン・ルーズヴェルト              |                             | ス. 漁業権                         | セ. 韓国                        |
| ソ. 小村寿太郎 <sup>こむらじゅう たろう</sup> | タ. ワシントン                    | チ. ポーツマス                       | ツ. 日比谷焼き討ち事件                 |
| テ. 自由党                         | ト. 大隈重信 <sup>おおくましげのぶ</sup> | ナ. 無敵艦隊                        | ニ. バルチック艦隊                   |
| ヌ. 陸奥宗光 <sup>むつ むねみつ</sup>     | ネ. 陸軍                       | ノ. 台湾                          |                              |

Ⅵ. 次の各文の下線部分が正しければ○をつけ、間違っていたら正しい語句を書きなさい。

(各2点)

1. 弥生時代は、大陸の進んだ稲作技術を受け入れてはじまったもので、収穫は稲が実ると石<sup>せき</sup>匙<sup>ひ</sup>と呼ばれる専用の石器を用い、穂首<sup>ほくび</sup>を刈りとして行われた。
2. 唐風<sup>とうふう</sup>の書に対して、優美な線を表した和様が発達し、中でも小野道風<sup>おののみちかぜ</sup>、藤原佐理<sup>すけまさ</sup>、藤原行成<sup>ゆきなり</sup>三跡<sup>さんせき</sup>（蹟）と呼ばれた。
3. 嘉吉<sup>かきつ</sup>の変後、有力守護家や将軍家で家督争いが起こり、東西両軍にわかれ京都を主戦場とする承久<sup>じょうきゅう</sup>の乱がはじまり、戦国時代が幕を開ける。
4. 仙台藩主伊達政宗<sup>だてまさむね</sup>が家臣伊東マンショを派遣した慶長遣欧使節<sup>けいちょうけんおうしせつ</sup>は、スペインを経由しローマ教皇に謁見した。
5. 徳川吉宗の次男宗武<sup>むねたけ</sup>にはじまる田安家<sup>たやす</sup>、四男宗尹<sup>むねただ</sup>の一橋家<sup>いちしげ</sup>、徳川家重の次男重好<sup>しげよし</sup>の清水家は三卿と呼ばれ。朝廷との協調関係も維持して徳川将軍家の安定をはかった。
6. 緒方洪庵<sup>おがたこうあん</sup>は、大阪に私塾・洗心洞<sup>せんしんどう</sup>を開き、福沢諭吉<sup>ふくざわ ゆきち</sup>ら幕末から明治初めに活躍する人材を育てた。
7. 1871（明治4）年飛脚にかわる官営の郵便制度は、渋沢栄一<sup>しぶさわえいいち</sup>の建議により発足し、まもなく全国均一料金制をとった。
8. アフリカをまわってアジアに到着したペリーひきいる4隻の艦隊は、1853（嘉永<sup>かえい</sup>6）年、長崎を経て浦賀に来航した。
9. 大衆娯楽となった映画は戦後黄金時代を迎える。芥川龍之介の蜘蛛の糸<sup>くも</sup>を原作とし、黒澤明<sup>くろさわ</sup>が監督した同名の映画は、国際的にも高い評価を得た。
10. 高度経済成長期には、日本の発展を世界に示す国家的イベントとして1964（昭和39）年にオリンピック東京大会、1970（昭和45）年に大阪で海洋博覧会が開催された。